

科目名 (科目番号)	臨床検査総論 I (102211)	教員名 稲田 政則	学科等	臨床検査	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			オフィスアワー		前期水5 後期水2	B320研究室	
授業概要	血液以外の各種検体を対象とした諸検査法について、原理および意義を講義した上で、検査成績に影響を及ぼす諸問題に言及する。また一般検査に関する知識を病態と関連付けながら体系的に整理する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	臨床検査技師の役割と使命、臨床検査に関する心構えと一般的注意	臨床検査技師の役割と使命を理解する。さらに、臨床検査に関する心構えと一般的注意について理解を深める。				
	2	検体の取り扱い (1)尿	尿検体に対する取り扱い方を理解する。				
	3	検体の取り扱い (2)便 (3)喀痰	便検体および喀痰検体に対する取り扱い方を理解する。				
	4	検体の取り扱い (4)胃液・十二指腸液・膵液	胃液、十二指腸液、膵液検体に対する取り扱い方を理解する。				
	5	検体の取り扱い (5)髄液 (6)穿刺液	髄液、穿刺液検体に対する取り扱い方を理解する。				
	6	検体の取り扱い (7)精液 (8)CAPD (腹膜透析液)排液	精液、CAPD排液検体に対する取り扱い方を理解する。				
	7	検体の取り扱い (9)その他の検体	その他の体液検体に対する取り扱い方を理解する。				
	8	一般検査 (1)尿検査－①尿定性検査、尿定量検査の所見と病態	尿定性検査、尿定量検査の各論を学んだ上で、検査所見と病態との関連まで理解を深める。				
	9	一般検査 (1)尿検査－②尿沈渣の所見と病態	尿沈渣検査に関する詳細を学んだ上で、各種有形成分の出現と病態との関連まで理解を深める。				
	10	一般検査 (1)尿検査－③腎機能検査	腎機能検査全般を学んだ上で、クリアランスの計算を通し、その意義について理解を深める。				
	11	一般検査 (2)便検査－便潜血検査の所見と病態、寄生虫卵検査②	便潜血検査の意義と原理を理解する。吸虫卵・条虫卵・蠕虫卵・原虫卵の鏡顕をする。				
	12	一般検査 (3)髄液検査－髄液検査の所見と病態、(4)喀痰検査	髄液検査の所見と病態の関連について学ぶと共に、細胞数の計測技術について理解を深める。喀痰検査について理解する。				
	13	一般検査 (5)胃液検査 (6)十二指腸液検査	胃液検査、十二指腸液検査について理解する。				
	14	一般検査 (7)穿刺液検査 (8)精液検査	穿刺液検査、精液検査について理解する。さらに、精液検査の話題を通して、生殖医療の現状について理解を深める。				
	15	一般検査 (9)CAPD(腹膜透析液)排液 (10)その他の体液検査	CAPD排液検査について理解すると共に、透析治療の現状について理解を深める。その他の体液検査について理解する。				
成績評価の方法・基準	レポート(5%) + 定期試験(95%)						
教科書	臨床検査総論	伊藤機一・松尾収二(編)			医学書院		
参考図書	尿沈渣検査法2010 髄液検査技術教本	日本臨床衛生検査技師会 日本臨床衛生検査技師会		日本臨床衛生検査技師会 日本臨床衛生検査技師			
教員からのメッセージ	予習と復習を十分に行ってください。自らの尿量を計測する等、レポート課題を予定しています。レポートは評価を加えて返却します。						